

第2回総合振興計画策定審議会（11/20開催） 質疑応答 全文

【アンケート結果について】

Q 委員

自由記述一覧の取り扱いについてご説明をいただきましたが、私は学校関係におり、学校教育に関わる内容もこの中に書かれていました。ありがたい意見もあれば、厳しい意見もありました。私だけが見るのではなく、現場にいる者とも共有したいのですが、取り扱いには注意が必要とのことだったので、どうしたらいいでしょうか。

私としては町民の皆さんがこういう意見を抱いているということを教職員一同共有しながら今後の学校教育に当たっていきたいと思っているのですが、いかがでしょうか。

A 事務局

教育現場で活かされるというご意見をいただきましてありがとうございます。

内容を見ていただけると分かる通り、若干突き詰めると個人が特定されるような表現が含まれており、先生達の中で十分ご配慮いただければ校長会として共有していただければと思います。

Q 委員

観光など、それぞれの部門に関して括った物を作成すれば活用しやすくなるのではないのでしょうか。これを持って帰って管理するのは大変な部分もあるかと思えます。

A 事務局

貴重なご意見ありがとうございます。

個人等が特定できる部分については配慮しなくてはと考えております。その上で他の委員から良いお話をいただきました。部門毎に細分化して不適切な箇所を整理させていただいた上で各団体にお渡ししたいと考えております。

事務局としましては、町民の率直な気持ちを皆様方に見ていただきたいというのが第一義にございまして、今回この資料を出しております。そういったこともお酌み取りいただきながら対応していただきたいと思えます。

【ワークショップ結果・SWOT分析について】

Q 委員

資料3の強み弱みについて、町の弱みの3つ目「過疎地域の指定」ですが、過疎という言葉自体の弱みはあると思いますが、行政の立場になったとき、過疎地域指定から外れることから反対する地域について新聞に載っていました。過疎地域の指定が町民にとってどれだけ意味をもっているのか疑問に思いました。過疎だから、という言葉だけの問題で整理すれば弱みですが、過疎指定から外されたくない、というような考えもあるならば、特に財政的な部分では決して弱みではないと捉えられるのでは、と思いました。

A 事務局

ありがとうございます。貴重なご意見だと思います。

仰るとおり過疎地域の自立促進法の関係で役場の内部としては色々な制度があるのでそれを活用した強み・追い風となる制度だと思います。

ただ、やはり一般町民から感じると過疎地域に指定されるのは良いイメージではないと考え、現在の位置となりました。居場所を再度事務局で検討の上、よりよい場所に当てはめたいと思います。ご指摘ありがとうございました。

【岩内町総合振興計画体系図・案について】

Q 委員

5年間の基本計画というのは、5年後には新たに作り直すという考えですか。

A 事務局

10年間の計画の中で、前期5年間、後期5年間で考えております。登載事業をローリングして加除しながら点検を行う予定です。

Q 委員

10年間の計画を作る上で、今回5年分の事業を登載してローリングしていくと、新たに追加された項目が総合計画に載らないことになる。計画としてあっていいことなのでしょうか。

A 事務局

後期に新たなものや、削除すべきものが出てきた場合には、再度皆さんにご審議いただくことを検討しています。

Q 委員

資料3に戻ってしまいますが、町の強み・弱みという項目は誰が選ぶのですか。

A 事務局

これまでのアンケート結果やワークショップの内容をベースに、多方面から情報を仕入れながら選択していきたいと思います。

Q 委員

アンケート自由記載にも良い意見が出ているので、そういった意見も拾ってほしいと思います。

Q 委員

今回のアンケートの自由記載の部分が非常に興味深いものでした。せっかく皆さんが時間を割いて書いていただいた内容を、どうやって今後の計画に反映させていくのでしょうか

か。例えば、先ほどの体系案は、ほぼ冊子の目次の状態ですが、これを作り上げるにあたって、今回のアンケートやこの会議の反映のさせ方を、今後の展望も含めてお聞きしたいと思います。

A 事務局

まずアンケート結果、自由記載内容を材料として蓄積していきます。その中で推進すべき事や町の強み弱みを掛け合わせることによって、これから町が行うべき施策を導き出していきたいと思います。当然、各所管で捉えている課題なども組み合わせた上で、現在示している全体像に肉付けをして、特に基本計画の部分に色々な事業が登載されていくので、その状態になったものを皆さんにチェックしていただき、意見をキャッチボールしながら作成していきたいと思います。

Q 委員

他の委員からもご指摘があった、強み弱みや、内容の決め方について、案として提示されているものや基本理念をベースに考えたときに、ふわっとした印象を受けました。ここをベースとして進めるのではなく、自由記載などで出たちょっと辛口な意見などを積極的に取り入れて、濃淡のある、こっちにメッセージが伝わってくるような計画づくりをしていただけるとありがたいと思います。

Q 委員

総合振興計画の体系が出されましたが、これからの10年間もしくは5年間で示されているまちづくりの中で、学校の位置づけがどうなっているものかと思いました。10月に学校の保護者を対象に義務教育学校の説明会が4回行われました。町民向けも3回行われました。町民向けには50数名が連日来られて、いくつもの意見要望が出されていました。義務教育学校となると教育委員会の方から基本構想が示されておりましたが、1億2億で出来る事業ではなく、莫大なお金がかかっていきます。それに対して、町民に対して回数を重ねて丁寧な説明がされています。町としての考え方が今年度中か来年度の頭に出されると説明会で話がありました。そういった大きな計画に対するものが、この体系の中に盛り込まれるのか、どこかに入ってしまうのかと思います。

A 事務局

今ご意見を頂いたとおり、現在教育委員会で義務教育学校の住民説明会等を継続して行っております。当然町の将来を左右する大きな事業です。全体の体系図の中では、波線で囲まれている個別の計画に位置づけられているものになります。ただ、各所管で作成した個別の計画は、総合振興計画の本文の内容とも整合性を取っていきたくて考えております。教育委員会側でまとまったものが個別計画として決まり、総合振興計画の方にも内容として反映できるよう、足並みを合わせていきたいと思います。

Q 委員

自由記述一覧の中でその他に町職員の窓口対応として色々ありますが、現状で対策などの具体案などはあるのでしょうか。例えば役場の中でワークショップを開いたりなど、すぐ出来ることだと思います。内容が既に共有できているのか、対策は取られているのかを伺いたいです。

A 事務局

自由記載に関しては、この審議会が初出しとなります。先ほど個別で共有したいという意見があったのと同様に庁舎内で共有すべきだという話は出ていますが、まだ行ってはおりません。共有した上で人材育成などに取り組んでいきたいと思えます。

Q 委員

すぐに直せるようなことは時間をかける必要が無くお金もかからないと思えます。改善が無ければ書いた人が役場は何もしないと感じると思うので、出来ることはこういう風にしたと可視化することが大事だと思えます。

Q 委員

岩内町では色々なアンケートを実施していると思えますが、今回行われたアンケートの半数に満たない回答率は他のアンケートと比べていかがなのでしょう。同じようなアンケートを他町村で実施していた場合、岩内町の回答率は他町村と比較して高いのか低いのかを伺いたいです。

A 事務局

10年前の回答率よりは0.4ポイント上回っております。町内の他のアンケートは分母がもう少し少なく、そちらより回答率は良いと捉えております。他町村で参考にしている安平町の回答率は17.9%となっております。

【その他・委員コメント】

委員

アンケートの回答率はさておき、自由記述の数と内容に大変うれしく思えます。甘口辛口色々な意見がありますが、何かの形で意見を伝えたいという思いが、この町にこれだけあった事に驚きました。なんとか意見を活かして計画作りに反映させていただきたいと思っています。

委員

私は高齢者ですが、周りに学生の姿が全然見えないのが気になります。学校問題はどうかといつも不安に思っていました。お店もシャッター通りとなっておりますが、上手く利用してお年寄りでも楽しめる場所があればうれしいと思っています色々考えていますが、

なかなか案がありませんので、皆さんからも参考となる意見をいただければと思います。

委員

自由記述欄を見て、医療の欄で非常に厳しい意見を頂いており、病院としても常勤医の確保など行っているところですが、どこもそうですが過疎化している地域では1法人1病院の中で常勤医を確保するのが厳しく、高額な報酬を出さなければ医師は来ない状況です。その中でなんとか医師を確保して住民の皆さんの医療を頑張っていきたいと思います。今年には特にコロナの影響で患者数も減って医療自体の収入が上がらない中、少ないドクターで通常業務をしながらコロナ・発熱外来を一生懸命やっていたところはご理解いただきたいと思います。自由記述欄に記載されていることを少しでも改善できるよう努力していきたいと思っています。

委員

私は町内会自治会あり方検討会という立場で参加させていただいておりますが、やはり地域コミュニティの関係で各種意見がありまして、あり方検討会を行ってもその中にはなかなか意見が出てこない部分があったと思いました。これから検討会を開催する際、行政が関わってますので、今回のアンケート結果を少し集約しながら提供していただければ情報共有できると思っていますので、そこに期待しています。

アンケートの福祉の行き届いた町という質問の中で新しい項目である地域包括ケアシステムの構築というのがあります。初めての設問で10%近い回答があったということで行政の中でももう少し進めて欲しいと思いました。

子育てについても高い割合で要望がありました。高齢者の場合はいろんな形の中で意見反映されることが多いと思いますが、子育てしている期間は一時期しかありません。なのでぜひ親の意見をもっと支援充実をしていただきたいと思います。

委員

アンケートの質問内容を見たときに、きっと高齢者に対する要望が半分以上を占めるのかなという想像でおりましたが、年代別のアンケート回答を見ますと、子育て世代に関する回答者の割合が50%以下であるのに対して、子どもに対する教育などの案が一部で上位に来ているのが意外でした。20代・30代くらいから施設や教育への不満が出てくると思っていたのですが、子どもに関することを整えていかないと自分たちにも関わってくるという意識があるのかと思いました。

また、私もこのワークショップに参加して、改めて岩内町の課題や現状から出るもの、将来性や過去に関する事など、自分なりに再度振り返る良い機会だったと思います。カードのイエスノーで答えるものでしたが、高校生などにもやられたということで、自分の町の課題や魅力を再度確認できて、自分の町を好きになる良い機会だと思います。難しいとは思いますが、10年に1度と言わず、毎年何かしらワークショップを開いて岩内町に対する興味を持って頂きたいと思います。

委員

今回初めて参加しましたが、アンケート結果を見て、町民の意見に自分もそうだな、と思うところがありました。例えば円山地区は温泉は飛び地ではありますが、夜景が綺麗と謳っている展望台には、歩いて向かうところに照明が無く、温泉から歩いて行ける地区と車で行かなければならないところがあるのも勿体ないと思います。森林公園も近くにあるのに、どうやって温泉から行くのか、何がメインなのか、勿体ないと思いました。

道の駅もこれといった売りが無いような気がします。ただおみやげが売っていて、たら丸がいるだけ。トイレも駐車場も離れていて、何がメインになるのか。たら丸市場と道の駅が上手く繋がって欲しいと思います。運動公園にSLもあります、ここに駅があったんですよという意味も兼ねてバスターミナルの方に持ってきたり、なんとか少しでも多くの観光客に来てもらう事を考えられたらと思います。

生まれてから70年近く岩内に住んでいますが、昔のような賑わいは無くなってきています。さみしいことですが、後々の若い人たちが暮らしやすい町になっていけばと思います。

委員

自由記事を見たとき、岩内町内愛に溢れている方が沢山いるんだと、うれしく思いました。私も昔札幌に住んでおり、ネオンを背に岩内に向かう時はうれしい思いを抱いていましたが、最近はその逆になり、去年などはネオンを見ると都会に来たな、とうれしく思っていました。

高齢者の皆さんのお話を伺う機会が多く、アンケート結果でも高齢化に適したまちづくりを推進してほしいという意見が上位にありました。高齢者の方達は除排雪などが困難であったり、交通機関の問題を抱えている方なども沢山いるので、こういう問題を改善していくことが、福祉に優しいまちづくりになると思いますし、優しいまちづくりになると、一度外に出た若い世代が岩内町に戻ってくると思うので、今後はいかに若い方達が戻ってくるかに力を入れる必要があると思うので、その辺の施策をしっかりと行って頂きたいと思います。

委員

アンケートに高校の事も書いてあったので、改善すべきところは改善する、アピールが足りなく、知られていないものについてはもっとアピールしていくべきだと思います。ワークショップは高校生も参加して、一生懸命やってくれたので勉強になってよかったと感じています。日頃授業をちゃんと受けていないような生徒も岩内町に対して色々な意見を言っており、そういう気持ちがあるんだと再認識できました。

SWOT分析は教育現場でもよく使いますが、どちらかという人と人を説得する時に使う手法なので、恣意的になるとまずいと思います。ある立場では強みでもある立場では弱みになる場合もあるので、焦点がボケる可能性もありますが俯瞰的に見てフラットに作るしか無いと思います。アンケートを見ても対立する意見が載っていますが、やはり恣意的になるとまずいと思います。

委員

自由記載で商店街のことがいろいろ書かれていますが、これを解消するのは皆さんが地元の商店で品物を買って頂くのが一番です。ご協力をお願いします。商店の多くはシャッターが降りていますが、店と住居が一緒になっていることから店舗に水道やトイレが付いていなく、なかなか貸し出しが出来ないという状況があります。今いる店主さんたちは、私たちの代で終われば、という思いで設備投資もしていないという状況がありますが、頑張っている商店もあるので地元の商店で皆さんのご協力をお願いします。

総合振興計画は、できれば「こんな町にしたい」という町長の思いが伝わるような計画になればと思います。この計画を見ると全てが一直線で右も左も同じ並びです。これから町の財政も厳しくなっていくと思いますが、その中で突出してこういう風にしたい、例えば水産に予算をつけていくなど、メリハリのある計画にしていただければと思います。

委員

私は10月に岩内に着任し、まだ町民となって1ヶ月弱程度です。町民となった当初は、車で赴任してきて、シャッターの商店街が多く暗いな、という印象を持ってしまいました。見た目が全てではありませんが、観光地域づくりの推進となった時、外から見た町の印象はすごく大事であり、きれいな街並みを外に発信する仕組みを考える必要があると思います。ハードの整備はお金がかかってしまうので、それを官任せにするのか、プラス民の力も入れて、幹線道路の街並みを整備することも考える必要があると思います。職業柄、道内の色々な地方の町を歩いています。街並みに整備を入れている小さな町はあります。道路脇の整備を町を挙げて意識して取り組んでいる町もあり、花がかなりあるだけでも華やかになり、それがその町の売りになっている例も十勝方面で見えています。お金がかかることもありますが、少しのお金でできることも実はあると思うので、その辺も意識しながらまちづくりを考えてもいいと思います。

委員

他の委員から話の合った過疎地の指定の強み弱みについては、過疎債の事を指していると思いますが、総合振興計画の策定には過疎から逃れるというのが大きな目標にあると思います。なので問題は一つずつ消せるものは消していかなければならないと思いました。

5年後10年後という計画ですが、背景に人口減少と少子高齢化、関係人口の拡大などがあると思います。一次産業の振興や観光人口の拡大などありますが、そういった部分は5年10年では簡単に結論は出ないと思います。5年10年の計画を作るとすると、高齢者も含めて一生懸命取り組んで行かないと上手く出来ないと思います。アンケートの回答からも町民に関心を持っている人がたくさんいることがわかったので、そういう人達にも色々な所で参加していただきそれぞれの部署での活動を一步ずつ進めていけたらと思います。

観光協会として今回参加しています。道の駅の事もかなり厳しい意見が出ていますが、道の駅のメンバーも一生懸命観光PRその他を行っており、現在10月よりも入込数が増えています。今後岩内町と一緒に外に向かってPRできるような観光施設の開発を進めていければと思います。

委員

単年度の積み上げがあって10年ができるものだと思います。体育協会も運動公園や町民体育館、スキー場など各種施設を使って各団体が活動している状態です。健康づくり体力づくりに関しては、スポーツ振興上大切なことであり、皆さんの健康の関心も高まっていると思います。町民の期待に応えながら、日々の頑張りが10年の計画に活かされるよう頑張ってもらいたいと思います。

委員

資料を見ていて、これだけの人が岩内のことを思っていることに札幌から移住して身として感銘を受けました。旅行会社をしている人間として、ここが素晴らしい場所だと思って起業しています。岩内に魅力はたくさんあり、地元の人がそれをわかっているのは希望であることと、あるものをどうやってブラッシュアップするか、小さなことから話だと思います。例えば一次産業の六次化などもやる気がある人が多いので、そういう人達を応援してあげようなまちづくりであってほしいと思います。

委員

まちづくりはひとつづくりと言われていています。未来の若者を今一生懸命育てているところです。知・徳・体バランスの取れた人材をと思っていますが、ふるさと・岩内を愛するということをベースとしながら教育を進めていきたいと思っています。

委員

学校問題や医療の問題、自治会の問題、高齢化、商店街の問題など、色々な意見が委員の方から挙がってきています。町民の方が住んでいて、もしくは町外の方が岩内は良いと言ってくれる様に計画を立てている最中だと思います。まだまだ議論は足りないかもしれませんが、皆さんのお知恵をお借りしながら良い計画を作っていきたいと思っています。